

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	078
事務事業名 施設維持管理費										補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単
位置付けられている計画等										根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 下水道法)

2 事務事業の目的											
現状課題	昭和56年供用開始の大生郷終末処理場は、平成24年に施設の改築工事が完了したが、未工事部分の経年劣化に伴う機械・電気設備の更新及び管渠の更新の時期を向かえる。					誰・何を対象に	工業団地に存する企業の健全な操業環境の保全			望ましい状態	今後の施設の補修・改築等を計画的かつ効率的に取り組んでいくためのストックマネジメント(施設資産の管理)計画を継続的に見直し、事業計画と実施計画の双方の整合を図っていくことが望ましい。
						どのような方法・手順で	ストックマネジメント(施設資産の管理)の計画を策定し、維持管理・改築修繕を一体的に進め、施設・設備の最適化を図る。				

3 事務事業の主たる成果指標										
指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	目標年次	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	下水道は生活に欠かせない重要なライフラインのため、短時間の機能停止も許されない施設である。	

4 事務事業の実績																					
事務事業を構成する主な業務	2016年度			2017年度			2018年度														
	① 修繕業務	5件	① 修繕業務	5件	① 修繕業務	4件															
	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務	2件	② 検査・分析業務	2件															
	③ 委託業務	8件	③ 委託業務	8件	③ 委託業務	8件															
	④		④		④																
	⑤		⑤		⑤																
	⑥		⑥		⑥																
	⑦		⑦		⑦																
	⑧		⑧		⑧																
	⑨		⑨		⑨																
	⑩		⑩		⑩																
	⑪		⑪		⑪																
⑫		⑫		⑫																	
目標値に対する実績値			365 日			目標値に対する実績値			365 日			目標値に対する実績値			365 日						
決算額	計	56,725,914 円	内訳	特定財源	54,946,837 円	一般財源	1,779,077 円	計	60,000,695 円	内訳	特定財源	52,930,196 円	一般財源	7,070,499 円	計	60,573,434 円	内訳	特定財源	58,465,352 円	一般財源	2,108,082 円
	(住民一人あたりの行政コスト)			933 円			(住民一人あたりの行政コスト)			992 円			(住民一人あたりの行政コスト)			1,010 円					

5 担当者評価									
成果	目標どおり	成果内容	予防修繕業務や検査・分析業務等の結果を維持管理委託業者等と共有化することで、より安定した水処理を継続して行うことができています。						
問題点			今後は策定する特定公共下水道のストックマネジメント計画に基づき、予防修繕等を実施しつつ維持管理の精度向上を図るとともに、更なる維持管理費の軽減を目指す。						

6 担当部長及び担当課長評価									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	既存の施設設備・機器の適切な維持管理に努め、老朽化し運用に支障をきたす設備・機器の更新を計画的に実施し、処理場機能の正常運用と保全を継続させなければならない。運営コストや供用人口減に伴う運営費の減少など将来を見据えて、生活排水ベストプラン等による施設の広域化・共同化・統廃合についても、処理区域の再構築検討には起点となる可能性が高いが、処理能力・水量等の予測を見極めて適切な手段と時期を考慮して計画的に進める必要がある。								

7 実施計画																		
年度	2019年度			2020年度			2021年度											
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場2-3号回転円板修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、電気計装機器保守点検委託業務、検診業務委託、警備委託業務、環境整備委託業務 			<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場2-4号回転円板修繕 大生郷終末処理場初沈掻き寄せ機駆動装置修繕 大生郷終末処理場No.1揚水ポンプ修繕 大生郷終末処理場井戸ポンプ修繕 花鳥汚水中継ポンプ場水位計修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、電気計装機器保守点検委託業務、検診業務委託、警備委託業務、環境整備委託業務 			<ul style="list-style-type: none"> ●修繕業務 大生郷終末処理場3-1号回転円板修繕 花鳥汚水中継ポンプ場No.1, No.2汚水ポンプ修繕 大生郷終末処理場脱水装置活性炭修繕 ●検査・分析業務 水質検査業務、汚泥脱水ケーキ分析業務 ●委託業務 処理場維持管理委託業務、火災報知機等保守管理委託業務、電気保安管理委託業務、汚泥処分委託業務、電気計装機器保守点検委託業務、検診業務委託、警備委託業務、環境整備委託業務 											
成果指標	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365	指標名	ポンプ場正常稼働日数	単位	日	目標値	365

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については財政課と個別に議論をした上で予算要求を行うべきである。市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。生活環境の改善のため、生活排水ベストプラン等による施設の広域化、共同化、統廃合に努められたい。									

10 最終評価(行政改革推進本部)									
事務事業の方向性									
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	経営成績や財政状況を把握しながら、処理場機能の正常運用と保全に努めること。								

11 事務事業の改善理由及び改善部分									
予算額	歳出	計	59,229 千円	歳出	計	82,125 千円	歳出	計	77,611 千円
		特定財源	59,229 千円			特定財源	53,227 千円		
	歳入	一般財源	0 千円	歳入	一般財源	28,898 千円	歳入	一般財源	24,384 千円
		計	59,229 千円			計	82,125 千円		

11 事務事業の改善理由及び改善部分									
事業内容	実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。								